

# 日本史推進委員会 史跡巡検参加記

—厚木市・愛川町の縄文・中世、そして現代のベトナム寺院まで—

鎌倉学園高校 風間 洋

## はじめに

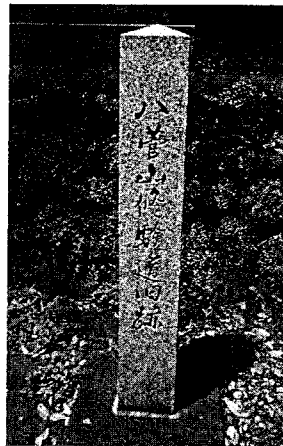
8月12日(金)、日本史研究推進委員会にて県内史跡見学会が実施された。行程は、厚木駅 9時半に集合—あつぎ郷土博物館—八菅神社—昼食—愛川町郷土資料館—ベトナム寺—厚木駅にて17時頃解散という県央・県北部の史跡見学を企画し、参加者は7名であった。

## 各見学地の解説・所感

①あつぎ市郷土博物館 令和4年特別展「有孔罫付土器と人体装飾文の世界」を見学。有孔罫付土器は、縄文時代中期(約4500～5500年前)に厚木市を含む関東・中部に広く分布し、平坦な口縁と口縁のすぐ下に罫状の隆帯と小孔の列が巡るのが特徴である。また、その器面を飾る人体装飾模様は、両手を挙げ、バンザイをしているような状態で描かれおり、何らかのルールがあるようにも考えられるという。厚木市林王子遺跡出土土器はその典型で、縄文人の精神文化の一端を反映する地域教材として、この文様の意味を生徒に考察させるも有効であろう。



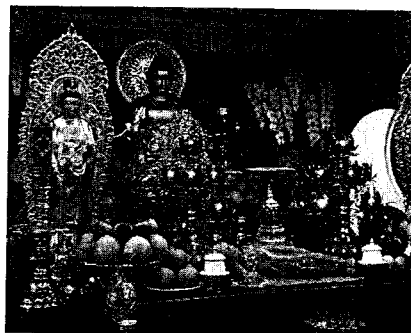
②八菅神社 八菅山修験の霊地である八菅山麓にある神社で、奈良時代に役小角が入山し、その後行基による伽藍建立とする縁起を持つ。中世には北条氏や足利氏など関東の権力者の崇敬も厚く、神仏分離令以前は七社権現、別当寺の他に50余の坊舎があり隆盛を誇ったという。今回特別に宝物殿を開けていただき、鎌倉時代の碑伝(修行のあとに立てる木碑)や鎌倉公方足利持氏の加判勸進帳など、この地が丹沢の霊山をめぐる大山にいたる修験道の拠点であったことを示す貴重な文化財を拝見する機会を頂いた。社殿右手には12世紀後半～13世紀前半に埋納された17基の八菅山経塚跡があり、これは東日本有数の経塚遺構である。



③愛川町郷土資料館 愛川町を含む県北部の歴史・民俗・考古資料の概要を常設展示にて学習した後、当館学芸員で中世前期の研究者である岩田慎平氏より「鎌倉幕府成立史の諸問題」と題する講義を頂いた。現在の『日本史B』教科書の「治承・寿永の内乱～鎌倉幕府成立部分」の記述を批判的に検証した内容で、平氏政権の再評価、八条女院と以仁王の

挙兵の関係、源頼朝の征夷大將軍任官や鎌倉幕府政権の「全国支配」への疑問など、最新の研究状況とすり合わせて教科書記述の不正確さを指摘し、同時に中世前半の国家像の概念として「権門体制論」（なぜか歴史教育では用いられない）の有効性を主張されていた。岩田氏の2時間余にわたる講義内容は大変緻密であり、教員が最新の歴史学の成果に学ぶ大事さを再認識する貴重な時間を頂いた。

④ベトナム寺 愛川町は人口の4万人中約3千人が近隣の工場に勤務する外国人で、その多くがアジア系住民である。同寺の副住職のジオイ バオさんより、お寺のご案内や在日ベトナム人の現状を伺う機会を得ることができた。同寺は2015年に民間ベトナム人の財政支援によって建立された。ベトナムでは山と川に囲まれた地に寺院を建てることが多く、愛川町に同じ風景が広がっていることが郷愁を感じさせ、この地に寺院が建つ理由の一つとなったという。毎週日曜日に県内だけでなく、静岡や名古屋など遠方からも仏教を信仰するベトナム人が集まり、盂蘭盆、花祭りなどの年間の宗教行事を行うと同時に母国の文化を守る交流の場として機能している。また、信者以外の人も見学は自由で、ベトナム仏教のしきたりや作法を教わることができるという。多文化共生の問題は、今や『歴史総合』の授業で不可欠の学習テーマとなっている。県内にこうした国際色豊かな寺院が存在し、ベトナム人の交流の場として機能していることを今回筆者は初めて知った。高校生の国際交流の場、地域探求の教材としても活用できるのではないだろうか。



## おわりに

今回の巡見は、縄文時代から修験の地、日本中世史の講義、現在の異文化体験と、大変バラエティーに富む見学内容であった。昨今ネットの普及などで簡単に資料の検索をして画像や史料などを取得できるようになったが、自身で史跡や資料を見学し、その場で感じたことを教室の生徒に伝えることが何より大事だと思う。生徒に歴史的思考を求める『歴史総合』や『日本史探究』が導入される今だからこそ、適切な歴史資料を提供する教員が疎かにしてはいけない原点だと改めて感じた次第である。

今後も日本史推進委員会では、県内の歴史資料の教材化のために史跡踏査や勉強会を続けていきたいと思っております。どうぞお気軽にご参加ください。

## 〈付記〉

今回の史跡巡検の見学の事前手配をしていただいた愛川高校の松澤友秋先生にお礼を申し上げたい。また、交通アクセスが不便な史跡を巡るコースであったが、快く車の手配をしていただいた松澤先生、足柄高校の桐生海正先生の御尽力によって効率的に踏査することができた。重ねて御礼を申し上げたい。